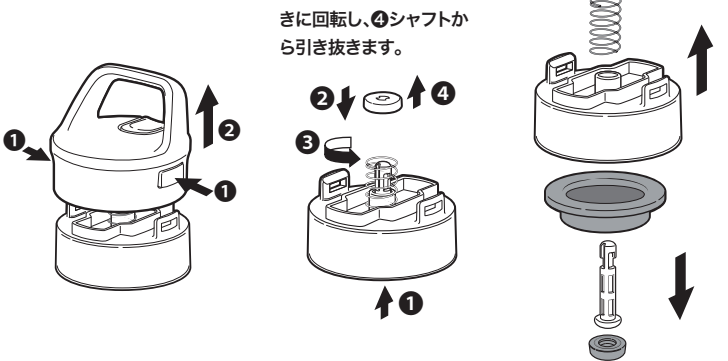


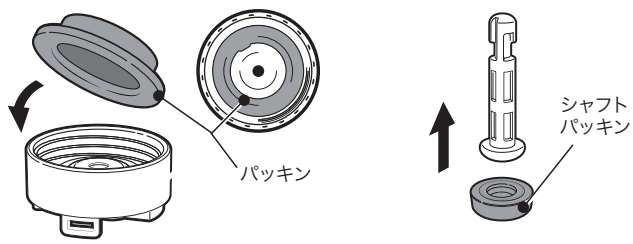
分解方法

- ①両サイドのロックボタンを押し込みながら②上ぶたをはずします。
- ①シャフトを下から押さえます。②ロックリングを下に押し下げ③矢印の向きに回転し、④シャフトから引き抜きます。
- 下ぶたからシャフト、パッキン、バネを取りはずします。



パッキンの取り付け方法

- パッキンの取り付け
- シャフトパッキンの取り付け



パッキンがきちんと取り付けられているか確認してください。

お手入れ方法

使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。お手入れするときは、柔らかいスポンジでおこなってください。

本体(外側・内側)のお手入れ

ぬるま湯で薄めた食器用洗剤を柔らかいスポンジ・フキン含ませて洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

ふたユニット

ふたユニットは丸洗いでできます。スポンジで洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

パッキン

パッキンをふたユニットから取りはずし、ぬるま湯で丸洗いし、乾いた布で水分を拭き取ってください。

△お手入れ上の注意

- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となるおそれがあります。
- 本体を洗った後は、すぐに水分を拭き取ってください。水滴の跡が残ったり、サビやものを汚す原因となります。
- シンナー、クレンザー、金属たわし、化学雑巾などは使用しないでください。キズやサビ、破損の原因になります。
- 本体やふたユニットの煮沸、および食器洗浄機や食器乾燥機などのご使用はおやめください。変形や漏れの原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。サビ、破損の原因になります。
- 本体・ふたユニットの浸け置き洗いなどはしないでください。
- ふたユニットを本体に取り付けたままお手入れしないでください。お手入れの際はそれぞれ取りはずした状態でおこなってください。
- 長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。
- 改造・修理・分解は絶対しないでください。破損、事故の原因になります。
- スポーツ飲料を入れた時は、使用後早めにお手入れをしてください。においの付着やサビ等の原因になります。

赤い斑点・ザラザラが付着した場合

ボトル内側にサビのような赤い斑点や、ザラザラしたものが付着した場合には...

サビのような赤い斑点ができた場合

水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分ほど放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

ザラザラしたものが付着した場合

水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、ふたユニットを取り付けず、3時間程放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

- パッキンは消耗品です。1年を目安に傷、損傷などが無いかを確認し不具合がある場合は使用を止め、部品交換してください。

交換部品のご購入はこちらから

アトラスオンラインショップ
<https://www.atlasonline.jp>



製品仕様

品番	ASO-381	ASO-541	ASO-771
品名	ステンレス製携帯用魔法瓶		
材料の種類	本体	内びん/ステンレス鋼	
		胴部/ステンレス鋼	
		口金/ステンレス鋼	
	ふたユニット	ポリプロピレン	
圧抜きレバー	ABS樹脂		
ロックボタン	ポリアセタール		
パッキン	シリコンゴム		
実容量	0.38L	0.54L	0.77L
保冷効力	9℃以下 (6時間)	9℃以下 (6時間)	8℃以下 (6時間)

※保冷効力とは室温 20℃±2℃において製品に冷水をふたユニットの下端まで入れ、水温が 4℃±1℃になったとき、ふたユニットをして縦置きにした状態で6時間放置した場合におけるその水の温度です。

表示者 株式会社アトラス
〒192-0046 東京都八王子市明神町4-7-15 落合ビル2F
<https://www.atlas-scm.jp/>

お問い合わせ

TEL.042-660-8870

受付時間/9:00~18:00
月～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
※通話料はお客様負担となります。

品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お買い求めの販売店までご連絡ください。

保冷専用

スパークス

SPARX

真空断熱炭酸用ボトル ●各部のなまえ

- 本品は炭酸対応ボトルですが、ビールなどのアルコール類、炭酸の強いものは泡が溢れることがありますのでご注意ください。

取扱説明書

ASOシリーズ

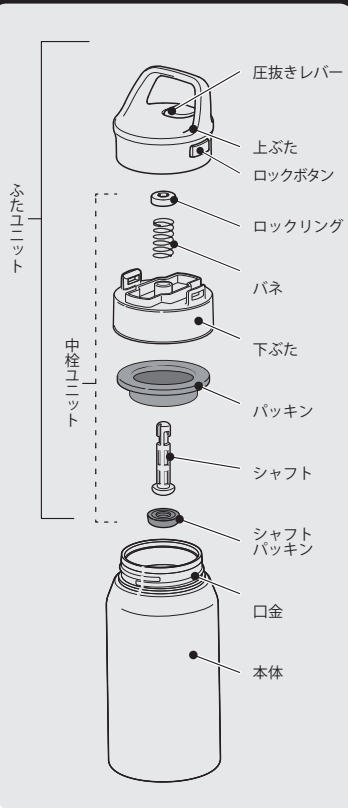
このたびは、弊社のステンレスマグボトルをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、この説明書を最後まで必ずお読みになり、正しく安全にご使用いただきませう、お願いいたします。また、本書は、万一ご使用中にわからなくなったときにお役に立ちますので、いつでもみられる所に大切に保管してください。

△ **ふたユニットを閉める際は最後までしっかりと閉めてください。**

ご使用前に

- はじめてご使用になる前に本体のキズ・凹み、ふたユニットのひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 底面の製造ロットシールは、はがさないでください。
- はじめてご使用になるときは、本体内側・ふたユニットを食器用洗剤をつけたスポンジなどでよく洗ってください。

※説明中のイラストは実際のものとは異なる場合があります。また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。



ご使用上の注意 保冷専用

- 警告**
- 本品は保冷専用ボトルです。熱いものは絶対に入れないでください。やけどの原因になります。
 - 炭酸飲料を入れた状態で、横置きにしないでください。
 - 本品は炭酸対応ボトルですが、ビール等のアルコール類、炭酸の強いものは泡が溢れることがありますので注意してください。
 - 圧抜きレバーを押した後は一度上ぶたをはずし、飲みものの漏れがないか確認をしてください。
- 圧力によっては漏れることがあります。カバン等に入れる前は特に注意してください。
- 車内や直射日光の当たる場所等、高温になるところに長時間放置しないでください。飲みものの温度が上がり、圧力上昇により飲みものが吹き出し、ものを汚す原因になります。
 - 落下などの衝撃を避けてください。衝撃が加わった場合、しばらく時間をおいてから圧抜きをし、ゆっくりとふたを開けてください。変形や割れ、保冷不良の原因になります。またふたユニットの破損原因になります。
 - ビールなどのアルコール類、炭酸飲料は冷蔵庫でよく冷やしてから入れてください。飲みものの温度がぬるいと炭酸が抜けやすく吹き出しやすくなります。

- 乳幼児の手の届くところには置かないでください。
 - 炭酸飲料を入れた場合は必ず圧抜きをしてからふたを開けてください。
 - 炭酸飲料を入れた場合、最初の30分を目安に一度、圧抜きレバーを押して圧抜きをしてください。
 - 炭酸飲料を入れた場合、故意にボトルを振ったりするのはやめてください。
 - 圧抜きレバーを押すときは必ずボトルを立てた状態でおこなってください。
- 本体を横にして圧抜きレバーを押すと中身がおぼれるおそれがあります。
- ふたを開けるときはゆっくりと開けてください。
 - 圧が抜き切れていなく吹き出すおそれがあります。
 - 飲みものはゆっくり注いでください。
 - ふたユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。飲みものが溢れ出す原因になります。また漏れて、ものを汚す原因になり危険です。
 - 飲み終わったら、本体を立て、ふたユニットを確実に閉めてください。閉め方が不十分ですと、傾けた場合飲みものが漏れ、ものを汚す原因になり危険です。
 - ふたユニットはしっかりと閉めてください。
 - 内圧が上がると、炭酸など飲みものが吹き出し、おそれがあります。
 - 圧抜きレバーを押したときに中の圧力のかかり具合によっては、中身が炭酸と一緒に溢れてくるおそれがあります。
 - 標高の高い場所では特に内圧が上がる為、こまめに圧抜きをおこなってください。
 - ボトルや取っ手を持って振ったり振り回すのはやめてください。
 - 取っ手を持って持ち運ぶ際は、上ぶたがしっかりと固定されていることを確認してからご使用ください。
 - ロックボタンが確実にロックされていることを確認してからご使用ください。
 - ふたユニットは必ずはずしてから飲みものを入れてください。

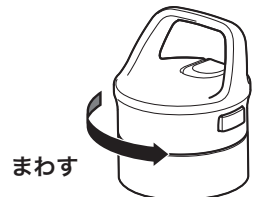
- 冷凍庫には入れないでください。
 - 飲みものを入れた状態で本体を逆さまにしないでください。
 - 飲みものの量は、取扱説明書4ページ右上の図を参考にしてください。入れすぎるとものを汚す原因になり危険です。ふたユニットが開かなくなったり、開めるときに飲みものが溢れ出す原因になります。また、使用中に漏れ、ものを汚す原因になり危険です。
 - 大きな氷を入れる場合は押し込まず小さく砕いて入れてください。
 - 炭酸飲料を入れた状態で氷を入れると炭酸が抜けやすくなります。
 - 分解洗浄後、ご使用前は各パッキンが正しく取り付けられていることを確認してからご使用ください。(6ページ参照)飲みものが漏れ、ものを汚す原因になり危険です。各パッキンの取りはずし、取り付けの際、部品の紛失及び未装着に注意して取扱説明書を参考にし、間違いない組み立ててからご使用ください。
 - ストーブやコンロなど火気のそばに近づけないでください。やけどや製品の变形や変色の原因になります。
 - 電子レンジで加熱しないでください。火花が飛び危険です。ケガや事故、破損の原因になります。
 - 次のものは絶対に入れないでください。
- ドライアイス
内圧が上がり、ふたユニットが開かなくなったり、飲みものが吹き出したり、ふたユニットが破損して飛散する原因になります。
 - 牛乳・乳製品・果汁など腐敗しやすいもの
成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、ふたユニットが開かなくなったり、飲みものが吹き出したり、ふたユニットが破損して飛散する原因になります。
 - お茶の葉・果肉
すき間などにつまり、漏れてものを汚す原因になります。

- においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。7ページのお手入れ方法に従って汚れやにおいを落とし、十分に乾燥させてください。
 - 飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、ふたユニットが開かなくなったり、飲みものが吹き出したり、ふたユニットが破損して飛散することがあり危険です。
 - お茶などは早めにお飲みください。長時間保存するとお茶の色や味が変わります。
 - 製品の構造上、湿度が高いときにふたユニットに水滴がつく場合があります。ご注意ください。
 - バッグなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。万一の漏れを防ぎます。
 - 持ち運ぶ際、次の点を必ず守ってください。
- 持ち運ぶ際は、上ぶたが確実に固定されていることを確認してください。
 - ロックボタンが確実にロックされていることを確認してからご使用ください。
- 運転中は危険ですので使用しないでください。車内や衣服を汚したり、やけどの原因となり危険です。また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。ドリンクホルダーに入れる場合は、あらかじめホルダーの強度を確認してからご使用ください。強度や固定が不十分ですと破損したり、はずれて落下のおそれがあります。

ご使用方法

- ご使用の前に**
- はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
 - 製品にガタつき、破損などはないか確認してからご使用ください。不具合があった場合、修理・分解はせずにご使用をおやめください。

1 ふたユニットをはずす

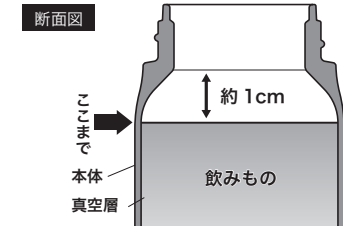


まわす

2 飲みものを入れる

飲みものの量は、下図の▶部までにしてください。入れすぎるとふたユニットを開めるときに中身が溢れる場合があります。入れすぎた場合は、減らしてから、ふたユニットを開けてください。

※あらかじめ、本体に少量の冷水を入れ、1分程度置き、予冷してから入れ替えると保冷に効果的です。※熱い飲みものは入れないでください。



断面図

3 ふたユニットを閉める

ふたユニットを閉める。

※圧抜きをする場合やふたユニットが開きにくくなった場合は、ボトルが倒れないように十分注意して必ず本体を立てた状態で布(タオルなど)をあてて、ゆっくりと開けてください。



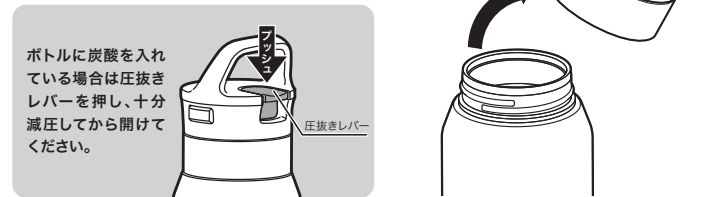
まわす

！ ふたユニットを閉める際は最後までしっかりと閉めてください。

4 ふたユニットを開けて飲みものを飲む

ふたユニットを開けて、ゆっくり傾けながら飲みものを飲んでください。

※飲み口に残っていた水滴が飛散することがありますので、ご注意ください。



ボトルに炭酸を入れている場合は圧抜きレバーを押し、十分減圧してから開けてください。

5 飲み終わったら

飲み終わったら本体を立て、ふたユニットを閉める。

※ふたユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。内容物が溢れ出たり、漏れたりして、ものを汚す原因になります。



圧抜きレバーを押した後は一度、上ぶたをはずし飲みものの漏れがないか確認してください。圧力によっては漏れることがあります。カバンなどに入れる前には十分に注意してください。